

# KOBAYASHI 4

No.205

## 小林市公式 LINE はじめました！

防災情報やごみ収集のお知らせ機能、ごみ分別検索機能など、あなたに必要なこばやしの「情報」をお届けします！

QRコードを読み取り、「追加」ボタンを押すことで友だち登録できます。（関連記事は25頁）



## 4年ぶりのマラソン大会 笑顔でゴール！

05 小林人／江戸太神楽師  
仙若 さん

06 特集／組織改編  
市の組織が変わります

08 西諸合同特集／小林准看護学校  
64年の歴史に幕

10 特集  
小林の関係人口を増やそう！

14 PhotoReport  
こばやし霧島連山絶景ウォーク・マラソン大会

16 特集／NPO パートナシップ創造事業  
魅力と活力のある小林市の実現を目指して

24 お知らせ／新型コロナワクチン接種





## 小林市魅力発信プロジェクト「ハッピンコバヤシ!!」

市では、多くの人と一緒に地域の魅力発信の力を高めていく「ハッピンコバヤシ!!」プロジェクトを進めています。このコーナーでは、市役所からの情報だけでなく、高校生記者、市民の投稿などを通して、小林のヒト・モノ・コトの魅力をお届けします。

## 市政の動きトピックス

### 東京大学先端研と連携

### 先端技術を活用し課題解決へ プロジェクトチームが活動報告

3月14日、市と東京大学先端科学技術研究センターとの連携協定にかかる報告会が開催されました。令和4年度は、「健康・福祉」、「産業振興」、「まちづくり」のチームに分かれて、先端技術などを活用した課題解決を研究。それぞれ、AIを活用した読みたくなる文章の作成、360度カメラを活用した農業技術の記録・継承、eスポーツのイベント開催・普及などの研究について報告しました。



### 放置竹林の問題を解決

### (株)サンライフの工場新設に伴い 企業立地協定を締結



2月16日、ジビエ肉の解体・食品加工などを行う株式会社サンライフ（大久保敏章代表取締役）の竹粉サイレージ発酵工場の新設に伴う立地調印式が、市議会の森田哲朗議長立ち会いのもと行われました。工場で使用する竹は放置竹林のものを活用し、生産された竹粉は土壌改良剤や家畜の飼料などに使われます。令和5年11月操業開始を予定しており、新たに7人の雇用が見込まれます。



一緒に小林のよかところをハッピンしよう！  
投稿写真から数点を広報紙で紹介します

Instagram & 広報こばやし  
#ハッピンコバヤシ

「ハッピンしたい小林の魅力」を写した写真に「#ハッピンコバヤシ」のハッシュタグを付けて、Instagramに投稿しませんか。市内で撮影したものであれば、景色、日常風景なんでもOK。投稿方法など詳しくは、市ホームページ（右QRコード）をご確認ください。



@ harupapa.photo さん



# 真方と細野の境目

@ tomoko\_yo119 さん



# おもしろ大根 # 百笑村

@ me\_em711 さん



# 仏の座 # 三階草



YOU CAN MAKE IT !!

## KOBAYASHI YOUNG

ハッピンコバヤシ!! 高校生記者クラブ

小林の  
わけもん  
Vol.51

小林にゆかりのある「がんばる若者」を紹介します！

### 県予選で優勝し、今年も全国大会へ挑戦

小林西高校 ビジネス総合科/柔道部

たばた あれん  
田畑 綾恋 さん (17歳)

小林西高2年生で、柔道部の田畑綾恋さん（鹿児島県曾於市出身）は、令和4年度全国高等学校柔道選手権大会宮崎県予選の個人部で優勝し、全国高等学校柔道選手権大会（3月20、21日・日本武道館）に出場します。昨年に引き続き2回目の出場です。大切にしている言葉は「初志貫徹」。母が道着に刺繍してくれた言葉で、大切にしています」と

背負い投げと寝技に磨きを掛け、  
「初志貫徹」を胸に挑む全国大会



県大会で例年上位に名を連ねる県内トップレベルの競技力を誇る小林西高柔道部

話します。1番の得意技は背負い投げ。「背負い投げは、必ず一本をとる。また、今練習にたくさん取り入れている寝技でも一本を決めたい」と、現在は全国大会に向けて猛稽古中です。顧問の中村琢磨（たくま）先生も「小柄な選手だけど負けん気がある選手」と期待する存在。切磋琢磨する仲間とともに、全国での飛躍が期待されます。

## ハッピンinfo

「日本一おいしい肉」PR牛マスコット

### 4つの名前（名号）候補選出 マスコットの名前投票受付

和牛の聖地小林市「日本一おいしい肉」PRリアル牛マスコットの名前を、インターネット上やこばやし秋まつり会場等で募集した結果、531票の応募がありました。一次審査を行い、4つの候補を選出。皆さまからの投票を募りますのでぜひ投票ください。期間は4月14日（金曜）まで。投票の結果、名前が選ばれた応募者には、小林市産宮崎牛が贈呈されます。



←市役所1階に展示されているマスコット。こだわりが細部に見られる実物をぜひご覧の上、投票ください。

### 名前（名号）候補 と命名の意味と理由



- 「きらり」
  - 小林市のきれいな星空にちなんで。
  - 宮崎牛の輝くおいしさも表現。
- 「こばぎゅ〜」
  - 小林市の牛だから。
  - 子どもも呼びやすい名前なので。
- 「さくら」
  - 小林市の花木が桜なので。
  - 桜のようなマスコットになるように。
- 「べぶこ」
  - 方言で牛を「べぶ」というから。
  - 牛の方言で親しみを込めて。

投票は以下の3つの方法で受け付けます。①投票用紙（市役所1階マスコット近くにある用紙を投票箱に入れてください）②市ホームページ、③ツイッター（②③についての詳細は、市ホームページでご確認ください。

（市ホームページはこちら→）



# 我が高校の魅力 全力ハッショ!

高校生記者クラブ 各校ならではの魅力を紹介します!

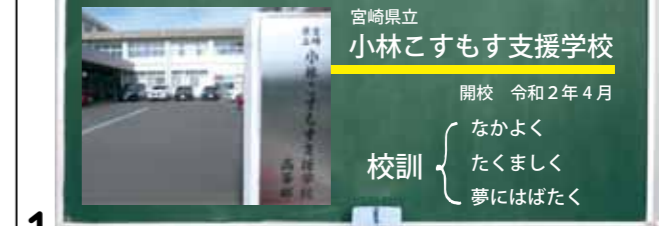
Vol.7 小林高校「小林高校×小林こすもす支援学校」編

## Check! 小林高校生徒の課題研究にも参加



オランダ生まれの造語で、視覚・触覚などの感覚を刺激して機能回復を目指す「スヌーズレン」を使った研究に協力

## Check! 全国的にも珍しく、同じ敷地内に特別支援学校があります。



## Check! 小林高校と小林こすもす支援学校は



これからも良い関係を築いていきます。

## Check! 小林高校とこすもす支援学校の交流



今年は7月と12月の2回、音楽交流会を行いました。

一言メモ：実際に音楽交流会にも参加し、特別支援学校の生徒と楽しく交流できました。

高校生記者クラブ 市内企業と働く人を紹介します!

# 小林の Yell 仕事と人

「おすすめのメニューは？」「イカスミパスタです。テレビで一度紹介されてから、遠方からいらつしやるお客さまが増えました。」「商品のこだわりは？」「自分がおいしいと思ったものだけ提供しています。」「これまで大変だったこと・苦労したことは？」「新型コロナウイルスによる営業自粛で思うように営業ができず、大打撃を受けました。」「仕事のやりがいとは？」「「おいしい」という言葉が一番うれしいです。」「今後の目標は？」「当時は高校生だったお客さまを区切りとして、太神楽師に専念することになった。」「当初は太神楽だけでは生活できず、「急に太神楽の仕事が入っても休めるように、日雇いのアルバイトを続けていた」と仙若さん。」「毎日アルバイト後に稽古を重ね、週末には大道芸に出演するなどして技を磨くことで、「どうしたらお客さまが喜んでくれるか肌で分かってきた」と話す。」「今年で芸歴25年を迎える仙若さん。今でも本番前は緊張するというが、本番では雑念を捨ててお客さんの反応に集中するという。」「目の前のお客さんの反応を楽しんで、全部プラスのエネルギーに変えるつもりで臨んでいます。」「お客さんの喜ぶ姿があれば、どんなに苦しくても元気になれる」と話す仙若さんは、今日も磨いた芸で観客に笑顔を届ける。



幅広年代の方から愛されるお店に。  
Pasta Pasta (パスタ パスタ) 代表  
いりさ よしひろ  
入佐 喜博さん (58歳)  
三松出身。旧小林工業高校機械科卒業。両親の食堂(元:味喜食堂)を受け継ぎ、大好きなスパゲティを提供するスパゲティ専門店を開いた



入佐さんが経営するお店  
Pasta Pasta (パスタ パスタ)  
創業 平成14年 従業員 10人 募集業種 アルバイト

「我が大人になり、子どもを連れて来られるようになったことに喜びを感じます。今は以前より高校生のお客さまが減っていますが、ぜひ気軽に立ち寄ってほしいです。年代問わず長く愛されるお店にしていきたいです。」

取材後記：従業員の方々がとても優しく雰囲気の良いお店でした！ぜひ足を運んでみてください。(小林秀峰高校チーム)

## まるいちせんおうしやちゅう 丸一仙翁社中 江戶太神楽師 (曲芸師) 仙若 (本名:西田英智) さん (54歳)

太神楽は、江戸時代に伊勢神宮や熱田神宮の神官の子弟が各地に出張して獅子舞を舞い、御札を配る「代神楽」として流行。江戸後期以降、余興である曲芸が寄席で披露されて人気を集め、現在はお正月や祭り、結婚式など、さまざまな祝いの席で披露されている。今回は、野尻町東麓出身(野尻中・小林高卒)の江戸太神楽師、仙若さんに話を聞いた。

# お客さんの喜ぶ姿で、苦しくても元気になれる

2月24日には東方小学校で太神楽公演が開催され、多彩な芸や話術で全校児童を魅了。仙若さんは昨年秋の「小林市郷土芸能フェスティバル」にも出演予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大で中止に。今回の東方小学校の公演は、「伝統芸能を次の世代へつないでいてもらうために、地元の子どもたちに伝統芸能の素晴らしさを知ってほしい」という仙若さんの好意で、無償で開催された。

「日本人の感性がぎゅつと詰め込まれていて、長い時間の中で芸が洗練されている。だから人を引き付けるんだと思います」。太神楽の魅力がそう話すのは、野尻町出身の太神楽師仙若(西田英智)さん。仙若さんは、20歳の頃に上京。たまたま観た舞台上、出演者が何かを表現したいと真剣に戦っているのを見て、「一緒に戦ってみたい」と舞台俳優の道へ進んだ。転機は、平成9年の日本の伝統芸能を取り入れた舞台のヨーロッパ巡業。同じ舞台に参加していた江戸太神楽十三代家元の丸一仙翁親方の芸に魅了されたという。同時に、日本の伝統芸能への知識が足りないことに気づき、役者として太神楽を勉強しようと稽古場に顔を出すようになった。平成10年10月には仙若を拜命。平成14年の映画撮影

海外公演も行うなど「太神楽には国を超えて伝わる面白さがある」と仙若さん。今後は、外国の人たちに日本で太神楽を楽しんでほしいと話す



# 小林 小じん こばやしびと Vol.113

4月1日から

# 市の組織が変わります

人口減少が進む中で、行政ニーズは多様化し、行政課題は複雑化しています。市が抱える課題解決に向け必要な体制を整えるため、市では行政機構改革を実施しており、令和5年度からは一部の課を統廃合するなど、より効率的で効果的に業務を遂行できるよう、下記組織体制に再編しました。

●問=企画政策課 Tel.23-0456

## (主な改編部分)

### 健康福祉部

市役所東館	福祉課 <b>長寿介護課</b>
保健センター	<b>地域医療対策監</b> <b>健康推進課</b>
本館1階と保健センター	<b>こども課</b>
各園	中央保育所 須木中央保育園 栗須保育園



#### ・子育て支援課に母子保健分野業務を移管し「こども課」になります

こども家庭庁が設立されるなどの国の動向も踏まえ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、母子保健分野業務を健康推進課から子育て支援課に移管します。また、子育て支援課は「こども課」になります。

- ・医療介護連携室が所管する医療介護連携業務を長寿介護課へ移管します
- ・新型コロナウイルスワクチン接種業務を健康推進課へ移管します
- ・地域医療、救急医療、医療従事者確保業務を担う地域医療対策監を配置します

### 教育部

本館4階	<b>学校教育課</b>
中央公民館	<b>社会教育課</b>
市民体育館	<b>スポーツ振興課</b>



- ・須木・野尻教育分室の全ての業務を学校教育課、社会教育課、スポーツ振興課、住民生活課などに統合します

### 総務部

市役所本館3階	総務課 財政課 危機管理課 <b>管財課</b>
---------	-----------------------------------



- ・管財課を総務部に編入します

公共施設マネジメントの重要性が増していることから、総務部に管財課を編入することで財政部門とより密接に連携した公共施設マネジメントを強力に推進します。

### 経済建設部

市役所本館2階	農業振興課 畜産課 商工観光課 <b>建設課</b>
---------	-------------------------------------



- ・経済部に建設課を編入し経済部は「経済建設部」になります

### 須木・野尻庁舎

須木庁舎	2階 <b>地域振興課</b>
	1階 住民生活課



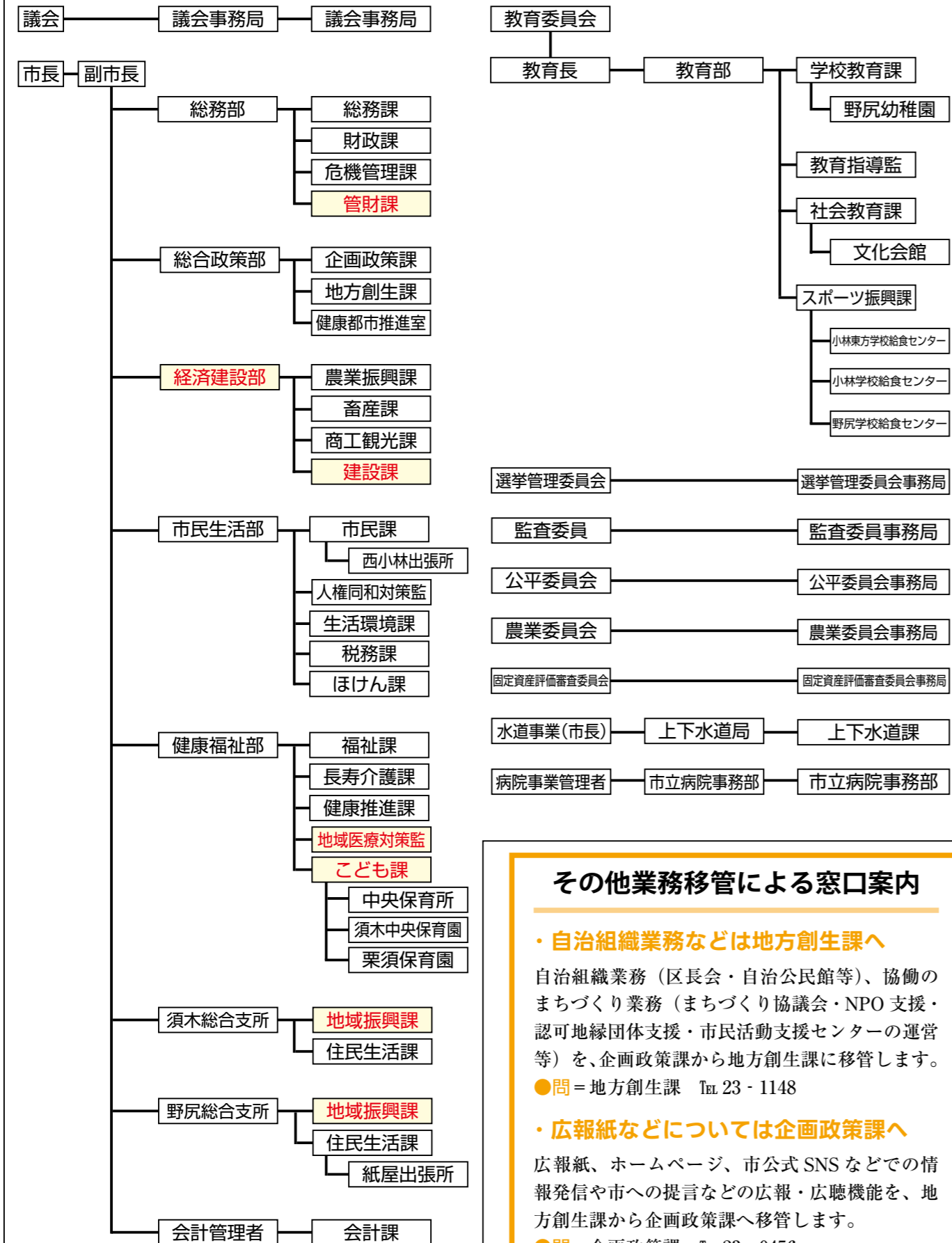
野尻庁舎	1階 <b>地域振興課</b>
	住民生活課
出張所	紙屋出張所



- ・須木・野尻庁舎の地域振興課と地域整備課を統合します

須木・野尻庁舎は、更に事務効率を高め弾力的に業務を遂行するために、地域振興課と住民生活課の2課体制へ移行します。

## 令和5年度小林市新組織図解



### その他業務移管による窓口案内

#### ・自治組織業務などは地方創生課へ

自治組織業務（区長会・自治公民館等）、協働のまちづくり業務（まちづくり協議会・NPO支援・認可地縁団体支援・市民活動支援センターの運営等）を、企画政策課から地方創生課に移管します。

●問=地方創生課 Tel.23-1148

#### ・広報紙などについては企画政策課へ

広報紙、ホームページ、市公式SNSなどでの情報発信や市への提言などの広報・広聴機能を、地方創生課から企画政策課へ移管します。

●問=企画政策課 Tel.23-0456

## 小林准看護学校のあゆみ

- 昭和32年 看護婦学校準備委員会設立
- 昭和34年4月 「小林准看護婦学校」開校  
(小林市真方、浄信寺昭和幼稚園舎内)
- 昭和37年 医師会館兼小林准看護学校舎建設  
(小林市真方)
- 昭和48年 医師会館兼小林准看護学校舎建設  
(小林市細野、小林市立病院横)
- 昭和52年6月 名称を「小林准看護学校」に変更
- 昭和53年4月 小林西高等学校と技能連携教育を開始
- 令和5年3月 閉校



1 第2回戴帽式(昭和35年)、2 現校舎(小林市細野、小林市立病院横)建築直後の様子、3・4 第3回戴帽式(昭和36年)、5 第12回戴帽式(昭和45年)、6 最後の戴帽式(令和3年)、7・8 実習に励む学生たち



3月8日に小林市文化会館で行われた小林准看護学校最後の卒業式では、12人が卒業。卒業生代表の川崎妃加さんは、「最後の卒業生として誇りと自覚を持ち、地域の方々に貢献できるよう努力を重ねていきたい」と誓いました。  
同校を卒業後、12人はそれぞれ西諸管内の医療機関に准看護師として勤務しつつ、小林西高校衛生看護科の生徒として2年間勉学に励みます。

### Interview

平成8年度卒業生



**在学中の経験や得た知識  
今でも仕事で活用**

診療放射線技師、准看護師  
蒲生 和典 さん(高原町出身)

小林准看護学校在学中は、他の高校に進学した友人たちと違って夏休みなどのまとまった休みがほとんどなかったため、うらやましく思ったこともありましたが、しかし、学生のうちから患者さんと接することができ、いい社会経験になったと大人になった今は感じます。

医療は日々進歩してはいますが、一方で変わらないものもあります。学生当時に先輩から学んだ知識や技術は今でも仕事で活用していますし、現在はそれを人に教える立場になりました。

### Interview

昭和60年度卒業生



**戸惑いながらも  
必死で過ごした日々**

看護師  
滝井 ひとみ さん(小林市出身)

小さい頃から看護師になるのが夢で、家から通える位置にあり、医療機関で働きながら通える小林准看護学校(小林西高校)に入学しました。

入学後すぐに医療施設での実習があるなど、普通の学校生活と違って初めてのことが多く、戸惑いました。病院と看護学校と高校の3つを行き来し、テストや病院での勤務が重なることもあるなど、とにかく毎日必死だったことを覚えています。

大変な日々でしたが、学校で基礎をしっかり教えてもらったおかげで今があると思います。

## 西諸地域の医療を支えてきた小林准看護学校

西諸3市町  
合同特集

# 64年の歴史に幕

**西** 諸内外の医療機関に多数の卒業生を送り出してきた西諸医師会立小林准看護学校。西諸地域の医療を支えてきた同校が、3月8日の卒業式をもって閉校することとなりました。

小林准看護学校は昭和34年に開校。昭和53年には、同校の特色のひとつである、学校法人小林西高等学校との技能連携教育が開始されました。

この制度は、小林西高校と小林准看護学校に同時入学し、2年間で准看護学校・准看護師の資格を取得。残り2年で西諸管内の医療機関で勤務しながら高校卒業資格を得ることができるといったもの。

当時としては画期的な制度であり、昭和50年代には毎年50人近くが入学するなど、多数の看護人材を養成してきました。

しかし、近年の少子化や社会情勢の変化により年々入学者数が減少。令和3年4月に入学した12人の卒業に合わせ、64年の歴史に幕を下ろすこととなりました。

### Interview

令和4年度卒業生

**学校での学びを活かし、患者さんに寄り添える看護師へ**



小林西高校衛生看護科2年  
森山 瑠唯 さん  
(えびの市出身)

小さい頃から看護師として働く伯母に憧れていましたが、コロナ禍の中で自分にも何かできることがあるのではないかと思います。

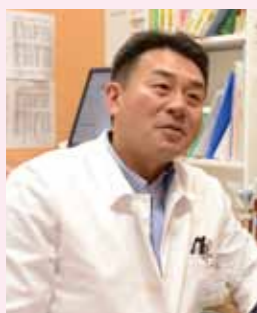
看護師を目指す方法は他にもありましたが、少しでも早く現場に出て学びたいと思い、小林准看護学校(小林西高校)への進学を決めました。

授業内容が専門的で苦戦したり、実習

の記録を専門用語でまとめるのに苦労するなど、想像以上に大変な2年間でした。それでも、実習で実際に患者さんと触れ合うのが楽しく、試験なども仲間たちと一緒に乗り越えることができました。

閉校はとてもさみしいですが、学校で学んだことを活かし、患者さんの一番近くで寄り添うことができる看護師になりたいです。

**ご指導・ご協力いただいた関係者・地域の皆さまに深く感謝いたします**



小林准看護学校  
園田 定彦 校長(第20代)

小林准看護学校は昭和34年の開校以来64年の長い歴史を刻んできましたが、今年3月8日に最後の卒業生を送り出しました。

本校は、日本で准看護師養成所と高等学校が技能連携教育を行っている最後の学校でした。しかし、近年の少子化や講師の確保などの影響で、今年度をもっての閉校という苦渋の決断をいたしました。

これまでに2229人の准看護師を輩出し、卒業生の多くが西諸地域の医療チームの一員として活躍しています。これからもナイチンゲールのろうそくの灯とともに、本校の理念が心の中を照らし続けることを望んでいます。

開校以来、永きにわたりご指導・ご協力賜りました関係者の皆さま、見守ってくださいました地域の皆さまに深く感謝いたします。

## ふるさと納税の使い道

小林市のふるさと納税では、寄付者が7つの寄付金の使い道を選択できます。

寄せられた寄付金は、寄付者の意向に沿った形でさまざまな事業の財源として活用されています。

### 小・中学校の給食費半額補助で子育て世代を支援



子育て世代の負担を軽減するため、小・中学校の給食費半額補助を継続。コロナ禍で価格高騰した学校給食食材費の増額分を補助しました。

### 子ども医療費の助成で子どもの健全な発育を促進



未就学児や小・中学生の保険診療分の医療費を一部助成することで、子どもの健全な発育を促進しています。(薬局は全額助成)

### 小林市産宮崎牛の認知度向上へ全国和牛能力共進会出品などを支援



小林市産宮崎牛の認知度向上を図るため、関係機関と連携し、和牛のオリンピックといわれる全国和牛能力共進会への出品などに対する支援を行いました。

### 特別支援教育支援員やALTを配置し、教育環境の充実を図る



特別な支援が必要な児童生徒の学びをサポートする特別支援教育支援員や、ALT(外国語指導助手)を配置し外国語活動等を推進することで、教育の質の向上を図りました。

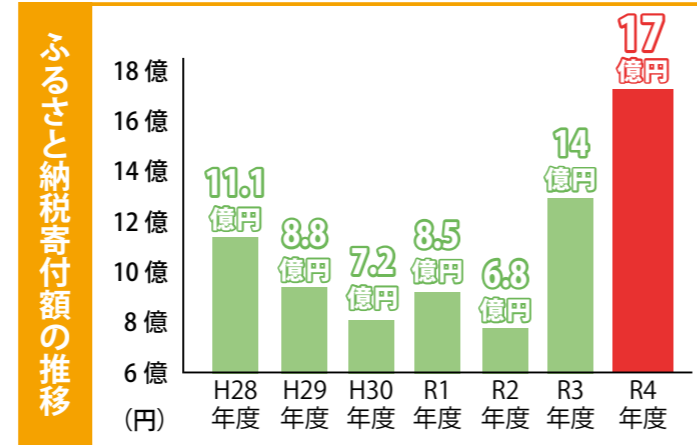
この他にも、ふるさと納税を財源としてさまざまな事業を実施しています

## 令和4年度寄付額

令和5年3月23日現在

# 17億円 (前年比121%増)

令和3年度は効果的なプロモーションの実施や返礼品の見直しで約14億円(令和2年度比200%)の寄付を獲得。令和4年度もその流れを継続し、独自の取り組みを展開することで、過去最高額を更新しました。



### ふるさと納税の取り組みに欠かせない生産者の声



お菓子の国 たんぼほ  
たっし まさかず  
**龍石 政和 さん**

寄付者の中には、リピーターになって毎年寄付してくださる方もいます。「感動した」と電話をいただいたり、中には直接会ってみたいとお店に来店して

くださった方もいらっしゃいました。こういった出会いにつながることは、お金に変えられない喜びです。

全国の方に注文していただき、結果として地域の役に立っていることもうれしく思います。

小林市畜産連合振興会理事長  
畜産農家  
やまだ しんじ  
**山田 真司 さん**



昨年の鹿児島全共で小林市産を含む宮崎牛が「おいしさ日本一」を獲得し、とてもいいPRになりました。

現在は、コロナ禍でインバウンド消費がなくなり、さらに物価高騰で畜産農家は苦しい思いをしています。コロナ禍も落ち着いてきた中で、ふるさと納税を通じた消費拡大に期待したいです。

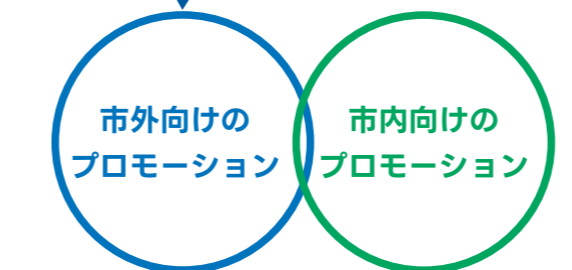
小林市の牛はたくさんの賞を受賞しており、他にも豊かな水やおいしい食材など素晴らしいものがたくさんあります。その素晴らしいものを確実にPRしていくことが重要だと思います。



# 小林のファンを増やそう！

### プロモーションの狙い

地場産品をPR 小林市のファン獲得  
ふるさと納税の寄付額拡大  
地場産品の消費流通拡大



地域の魅力を再発見  
まちへの愛着や誇りを高める

小林のファン(関係人口)が増加中!



※こばやしファン・サポーターズクラブの会員やSNSのフォロワー数などから試算

関係人口とは、特定の地域に継続的に多様な形でかかわる人たちのこと。よく、観光以上移住未満と例えられます。

関係人口が増えることで、地域の活力が高まり、持続可能な地域になっていくため、市では地域の魅力を内外に発信し、まちのイメージを向上させる「シティプロモーション」に取り組んでいます。

その取り組みの一環として、令和4年度は、市民や市出身者など、幅広い人たちの力を結集して市の魅力を発信するプロジェクト「ハッシンコバヤシ!」に取り

組んできました。

また、まちの魅力発信や地域を元気にするために重要な役割を担う「ふるさと納税」は、令和4年度に過去最高額の17億円を突破。

ふるさと納税は、子育てや地域活性化のためのさまざまな事業の財源になっているほか、小林市の取り組みへ共感してもらい、つながりを作ることができると、関係人口拡大の重要なツールにもなっています。

特集では、令和4年度のふるさと納税とハッシンコバヤシ!の取り組みを振り返ります。



# ハッシンコバヤシ!! で小林を大好きに!

小林には数えきれないほどの素敵な魅力が溢れています。そんな素晴らしい魅力を知って  
もらわないのはもったいない! 「ハッシンコバヤシ!!」プロジェクトでは、市民や市出身者  
も含めたさまざまな人のチカラを結集して、魅力をハッシンする取り組みを進めてきました。



# ふるさと納税で地域を元気に!

ふるさと納税には、地域のファンになってもらうことで地域を元気にする大きな役割があり  
ます。市内事業者の返礼品にこだわるなど市内の経済を循環させ、制度を活用して地域課  
題の解決を図るなど、寄付額以外の部分でも効果を生み出す取り組みを行ってきました。

## 高校生や小学生が 小林の魅力をハッシン!!

小林で活躍する「わけもん」  
や自身の高校の魅力を広報こば  
やしで紹介している「ハッシン  
コバヤシ!! 高校生記者クラブ」。  
ユニークな取り組みとして、  
新聞やテレビなど、さまざまな  
メディアで取材されています。  
また、ハッシンコバヤシ!! と  
細野小とのコラボでは、地方創  
生課職員もサポートしながら6  
年生がPRパンフレットを作成。  
修学旅行先で配布するなど  
して魅力をハッシンしました。



## 広がるハッシンの輪 テレビやラジオで魅力をハッシン!!

流ちょうな西諸弁を操る「イ  
ケおじ」3人組でおなじみ、ハッ  
シンコバヤシ!! のコンセプト  
ムービー。小林の魅力とともに  
人の温かさが伝わると評価さ  
れ、民間企業のCMを押さえて  
2022年「UMK CM大賞」を  
受賞するなど大きな話題にな  
りました。  
テレビやラジオへの出演が増  
え、小林や西諸弁の魅力が広く  
伝わるなど、ハッシンの輪が広  
がりました。



## 都市部のファンとのつながりを強化 東京でファンミーティング開催

都市部でふるさと納税を通じ  
て小林市のファンになった人た  
ちと一緒に、ふるさと納税の返  
礼品を開発する、全国的にも珍  
しい取り組みを実施しました。  
イベントでは、参加者と一緒  
に郷土料理「ねったぼ」を調理・  
試食し、返礼品としての打ち出  
し方を検討。  
取り組みにより、寄付者との  
つながりをさらに深め、よりコ  
アなファンになっていただきま  
した。



## イベントに参加し魅力をPR 県内外で小林のファンが増加中!

都市部で開かれたPRイベン  
トに参加し、小林市の特産品を  
PRしました。来場者と対面で、  
コミュニケーションをとりなが  
ら魅力を知ってもらうことで、  
小林市をより身近に感じてもら  
えるイベントとなりました。  
また、県内でも、宮崎観光ホ  
テルと連携して「真夏の激アツ  
こばやしマルシェ in 宮観」を  
開催。ホテル内イベントテラス  
で特産品などを販売し、小林市  
の魅力をPRしました。



## 写真で小林の魅力を再発見 フォトコンテストで魅力をハッシン!!

写真を通じて小林市の魅力を  
再発見、ハッシンしてもらう市  
民参加型の企画として、「シン  
セン! こばやし! フォトコンテ  
スト」と、「ハッシンコバヤシ!!  
フォトコンテスト」を開催しま  
した。  
また、広報×Instagramの  
連動企画として、「#ハッシン  
コバヤシ」のハッシュタグをつ  
けて投稿された写真を、毎月数  
点広報こばやしに掲載していま  
す。(今月号は3ページに掲載)



## 蛙亭・イワクラさんが 小林の魅力をハッシン!!

昨年7月に、小林市出身の人  
気お笑い芸人、蛙亭・イワクラ  
さんが「こばやしスペシャルP  
R大使」に就任。  
バラエティ番組などへの出演  
を通じて、魅力をハッシンして  
いただいています。  
昨年12月、市公式Youtube  
チャンネルでイワクラさん  
出演・作詞のPR動画を公  
開しました。



## 肉のおいしさ日本一キャンペーンで 和牛の聖地小林市をPR

昨年10月の全国和牛能力共進会で、小林市産を含む宮  
崎牛が「肉のおいしさ日本一」を獲得。この快挙を記念し、  
「和牛の聖地小林市」を広くPRするため、「肉のおいしさ  
日本一キャンペーン」を展開しました。Twitterでのフォ  
ロー&リツイートキャンペーン、ふるさと納税で食べた  
お肉の感想をツイートしてもらうなど、小林市産宮崎牛の  
おいしさを拡散する取り組みを行いました。



## フードロス削減に貢献! 規格外の商品を返礼品として提供

味や品質に問題はないものの、規格外などの理由で商品  
とならないものを、返礼品として提供する「フードロス削  
減プロジェクト“コバヤシB印”」に取り組んでいます。  
提供しているのは、さまざまな部位が混ざったお肉の切  
り落としやケーキの切れ端を集めたものなど。フードロス  
削減に貢献しつつ、おいしいものを食べられるという一石  
二鳥のプロジェクトになっています。



## それぞれの立場で それぞれの好きをハッシンしよう!

市外に小林市のファンを作るためには、まず私  
たち一人ひとりが小林市のファンになり、まちに  
誇りと愛着を持つことが必要です。

令和5年度も、市民の皆さん、そして市外の皆  
さんに小林市をもっと好きになってもらえる取り  
組みを進めていきます。

皆さんも、ぜひそれぞれの立場で、それぞれの  
やり方で、「自分の好きな小林」を「ハッシン」  
してください!

## 全国的に評価されるハッシンコバヤシ!!

全国の事例が紹介される広報専門誌  
月刊「広報」で優良事例として紹介!



全国各地の優良事例が掲載  
される広報専門誌『月刊「広  
報」』((公社)日本広報協会  
発行)で、「ハッシンコバヤ  
シ!!」の取り組みが大きく紹  
介されました。この他、新聞・  
ニュースでも取り組みが取り  
上げられています。

## 全国的に評価される小林市のふるさと納税

日本最大級のふるさと納税の優良事例発表  
ふるさとチョイス AWARD 大賞を受賞!



ふるさと納税総合サイト  
「ふるさとチョイス」主催の  
アワードで、地方創生課の  
佐藤友和主幹が最高賞の大賞  
を受賞。寄付獲得だけでなく  
地域として持続していくため  
に、将来を見据えて展開する  
取り組みが評価されました。

## 地域の課題解決に取り組む事業を応援 「ふるさと起業家・団体等支援事業」

地域資源を活用して地域課題解決を目指す事業を新たに  
起業、拡充して取り組む人を応援する、「ふるさと起業家・  
団体等支援事業」に取り組んでいます。

令和4年度は、高齢者の見守り支援の事業など、2件  
の事業を認定。ふるさと納  
税制度を活用したクラウド  
ファンディングを実施し、  
資金の調達を支援しまし  
た。



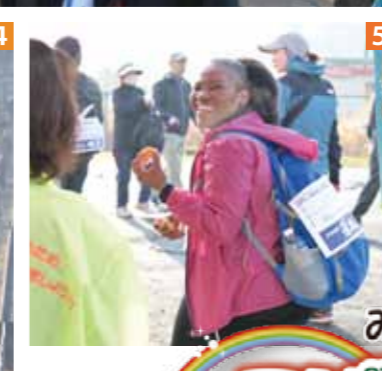
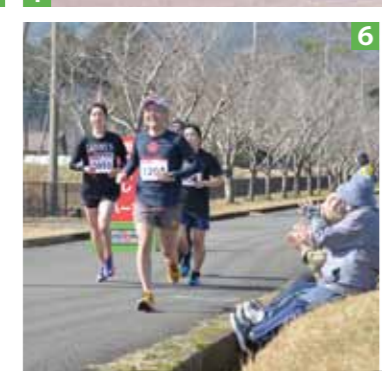


Photo 1 1.5キロコースがTENAMUビル前を一齐にスタート 2 ゴールを目前に笑顔でハイタッチ 3 給水ポイントで一息 4 まきばの桜並木を走るランナー 5 晴天に恵まれ、霧島連山もくっきり 6 沿道での温かい応援に笑顔のランナー

Photo 1 中央ふれあい広場をスタート 2 2日目のコースで出の山公園を歩く参加者 3 三之宮峡では多くの人が立ち止まって写真撮影 4 真方地区体育館付近の様子 5 温かいおもてなしで笑顔に 6 二原地区を笑顔で歩く参加者

4年ぶり  
3/5 Sun

4年ぶり  
2/25 Sat  
2/26 Sun

# 第7回 こばやし霧島連山 絶景マラソン大会

幅広い年代のランナー約 830 人が小林のまちを疾走

# みやざきツーデーマーチ こばやし霧島連山 絶景ウォーク

市内外から参加の約 1500 人が、市内の名所をウォーキングで満喫!

**澄** み渡るような青空のもと、3月5日に「第7回こばやし霧島連山絶景マラソン大会」が開催されました。

コロナ禍の影響で、開催は4年ぶり。当日は、ベテランランナーや仮装を楽しむランナー、親子連れのランナーなど、市内外約830人が参加しました。

大会はTENAMUビル前をスタート、駅南をゴールとする、ハーフマラソン、3キロ、3キロファミリー、1.5キロ、1.5キロファミリー、5キロの6部門で開催。

ハーフマラソンでは、霧島連山を望む堤地区やまきばの桜並木などがコースに盛り込まれ、参加者は風景を楽しみながら小林のまちを駆け抜けました。

大会後は、旅行券や小林市産宮崎牛などの特産品が当たる抽選会が行われたほか、JR小林駅前の中央ふれあい広場ではキッチンカーも出店されるなど、にぎわいました。

**ウ** ォーキングをしながら市内の名所を巡る「第25回みやざきツーデーマーチこばやし霧島連山絶景ウォーク」が、2月25日・26日、コロナ禍による中止を挟み、4年ぶりに開催されました。

JR小林駅前の中央ふれあい広場をスタート・ゴールに、25日は陰陽石や三之宮峡を巡る30キロ・20キロ・12キロ・6キロのコースを、26日は霧島岑神社や生駒高原、出の山公園を巡る30キロ・22キロ・11キロ・5キロのコースをそれぞれ設定。

当日は天候にも恵まれ、2日間で延べ1500人が風景などを楽しみながら、それぞれのペースでゴールを目指しました。

各地に設けられたチェックポイントでは、ツーデーマーチ恒例の地域住民などによるおもてなしも復活。完熟きんかん「たまたま」やいちご、豚汁などが振る舞われ、参加者は疲れを癒しました。

## 参加者の声

## 市民・参加者の声

熊本県から参加した  
坂田 吉総 さん、美千子 さん

鹿児島県から参加した  
徳重 秀樹 さん

真方地区体育館でのおもてなしに参加した  
酒匂 眞佐子 さん (写真は健康推進委員、真方一区の皆さん)

埼玉県から参加した  
渡辺 さん、加藤 さん、大野 さん (左から)



ハーフマラソンに参加しました。景色が素晴らしく、弁当や振る舞いの豚汁もおいしかったです。沿道でたくさんの方が応援してくれて、温かみを感じる大会でした。また参加したいです。

今回初めて参加しました。天気も良く、たくさんの方の応援もあって、楽しんで走れました。抽選会で当たった1等の旅行券を使って、鹿児島の両親に小林旅行をプレゼントしたいです。



きんかんやお菓子などを振る舞いましたが、どこで売っているのか聞かれることが多く、特産品のPRにもつながったと感じます。参加者との会話が楽しく、遠方の地域も身近に感じられました。

コロナ禍の影響で、全国のツーデーマーチで振る舞いがなくなりましたが、小林で受けた久しぶりの振る舞い・おもてなしは素晴らしかったです。コースの中では、特に三之宮峡が綺麗でした。







# 魅力と活力のある 小林市の実現を目指して

令和4年度に小林市NPOパートナーシップ創造事業補助金を利用して実施した事業を紹介いたします！

●問=地方創生課  
Tel 23 - 1148

## NPOパートナーシップ創造事業とは

**近**年、社会経済情勢が大きく変化し、人口減少などの影響から、さまざまな分野でこれまでの制度や仕組みの見直しが求められています。

そのような中、市が抱える問題に対して市民と行政が協働して問題解決に向けた取り組みを実施することで、真に豊かで魅力と活力のある小林市の実現を目指すとともに、市民団体を育成することを目的に実施する事業がNPOパートナーシップ創造事業です。

**令**和4年度は、7団体からの応募があり、選考委員会のプレゼンテーションを経て、実施事業が決定されました。

応募段階から、事業実施団体と市の協働する課が一緒に事業計画を考え、事業実施も共に行うなど、「**第2次小林市総合計画後期基本計画**」で設定した「**協働の取組**」として実現しました。令和5年度事業を4月1日から募集しています。詳細は市ホームページでご確認ください。



①吉都線シンポジウム／②吉都線に観光列車を呼ぼう！小林実行委員会／③企画政策課／④吉都線の小林駅開業110周年を記念したシンポジウムの開催



①絆を結ぶ物語推進事業／②「絆を結ぶ物語」実行委員会／③学校教育課／④コロナ禍の中で学ぶことが出来る新しい学びの場の提供

## 事業紹介

- ①事業名
- ②団体名
- ③協働課
- ④取り組み内容



詳細は市ホームページで確認出来ます



①キッズ祭り／②小林市仲町地区飲食店連合会／③商工観光課／④コロナで影響を受けた子ども達のために、with コロナでも家族で楽しめる新しいイベントの開催



※イメージ  
①子どもへの「学習支援」と「基本的な生活習慣の育成」／②(一社)HUG／③子育て支援課／④学習支援を通しての学力向上や協調性、コミュニケーション能力の育成



①南小学校キャリア教育プログラム／②南校区まちづくり協議会／③学校教育課／④学校とさまざまな協働体が連携したキャリア教育の推進



①健康的な日常生活実践事業／②小林市民に元気をもらおう会／③健康都市推進室／④高齢者や運動が苦手な方、在留外国人を対象にした健康教室や実践教室の開催

## 第2次小林市総合計画後期基本計画とは

総合計画とは、市が目指す将来都市像「みんなであつなむ 笑顔あふれるじよんよんよかとこ 小林市」の実現にむけて今後どんなまちにしていくなか、そのために何をやっていくのかなどを定めた、いわばまちづくりの設計図です。

第2次小林市総合計画後期基本計画はまちづくりの長期的な目標や方向性を定め、小林市まちづくり基本条例に掲げるまちづくりの

基本理念を具体化し、総合的に計画的な市政運営を図るために策定されました。

## 協働の取組とは

現在、少子高齢化や市民ニーズの多様化、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式への対応など私たちの生活は絶えず変化しています。そのような中、後期基本計画では、4つの基本構想「にぎわい」「いきいき」「まなび」「くらし」ごとに、「行政と市民が協働して取り組むこと」「市民に取り組んでほしいこ

と」を「協働の取組」として示し、市民と行政が力を合わせて活動していくことで、真に豊かで魅力と活力のある小林市の実現を目指しています。

## まちづくり基本条例施行から10年が経過

この条例は、市民会議で協議され、市へ提言書が出されるなど、制定時から多くの市民が関わり施行された条例です。

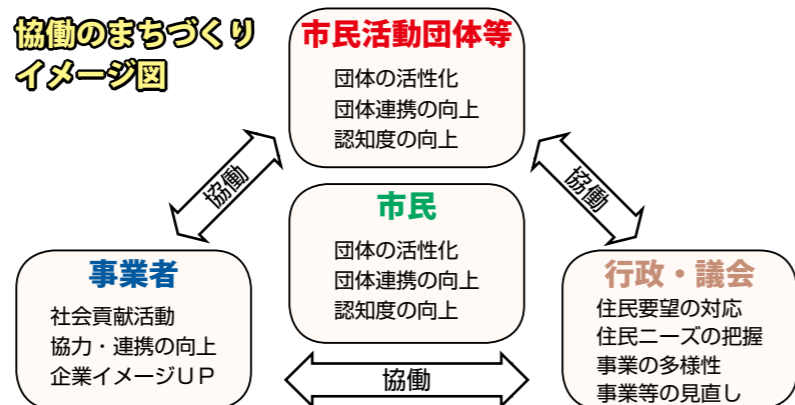
条例には、少子高齢化による人口減少や大規模災害の増加、医療福祉など、市

が直面する課題に対し、子どもたちに明るい未来を残していくための方針が示されています。

「協働」をテーマとするこのまちづくり基本条例。下の図のように小林に住み、働き、活動するすべての人、一人一人が手を取り合うことが、明るい未来への道標となるとしています。

まちづくりは、私たちがするもの。私たちが進む先にまちの未来があります。このまちづくり基本条例を道標に皆でまちづくりを進めていきましょう。

## 協働のまちづくりイメージ図



## まちづくり基本条例

### 「まちづくりはだれのもの わたしのもの あなたのもの、みんなのもの」

私たちの暮らす小林市は、南西部には霧島連山を、北部には九州山地を望み、山の恵みを湛えた湧水などに恵まれた自然環境、人情味あふれる人々、地域性に富んだ多様な文化に育まれた愛すべきまちです。

さらに、全国でも有数な和牛生産をはじめとした畜産業、メロン、ぶどう、栗・露地野菜などを生産する農業、豊富な森林資源を活用した林業、商工業との連携の中で発展してきました。

これからも自然や文化、産業の調和を図りながら、市民が力を合わせて「ふるさと小林市」を守り育てていかなければなりません。

また、社会環境の大きな変化や予測のできない自然災害の中でも、市民それぞれが自らを生き抜く意志を持ち、お互いの助け合い、支え合いの心を持って、絆を育んでいくことが必要です。

わたしたちは、子どもからお年寄りまでみんなが安心して健康で幸せに暮らしていけるまちをめざして、ひとり一人がまちづくりの主体であることを自覚し、互いに尊重しながら、協働によるまちづくりを推進するために、この条例を制定します (前文より)

## 日本最高峰のダンスコンテストへ 小林小の深江遥斗さんが出場



ダンスチーム HANGOUT は昨年4月に結成。深江さんは、チームの練習拠点の鹿児島県いちき串木野市に通い、練習を重ねてきました

3月7日、日本最大規模・最高峰のストリートダンスコンテスト「スーパーキッズダンスコンテスト」の全国大会に出場する HANGOUT の深江遥斗さん（小林小6年）が市長を表敬訪問しました。HANGOUT は昨年の中学生部門九州予選で優勝。深江さんは「みんなが憧れる大舞台。自信を持って全力で、笑顔でがんばりたい」と話していました。

## 日本公衆電話会が災害時の行動を 取りまとめた手引きなど寄贈



寄贈は地域の安全・安心への貢献活動の一環で行われたもので、同会では小学生などを対象に緊急通報のかけ方を学ぶ「公衆電話教室」も行っていきます

3月9日、公益財団法人日本公衆電話会から災害時の行動をまとめた「災害時連絡方法の手引き」や、子どもたちが安全・安心な生活を送るための「こども手帳」、「ネット安全 Guidebook」が寄贈されました。日本公衆電話会の福島洋一本部評議員（写真中央）は「手引きは地域の安全・安心のための啓発活動にご活用いただきたい」と話しました。

## サミットを前に味覚でドイツを知る 市内小中学校でサミット給食を提供

3月2日、G7サミット宮崎農相会合を給食で盛り上げようと、小林東方学校給食センター所管の小中学校で、ドイツの郷土料理「シュペッツレ（パスタ料理）」と「ゲミューゼズッペ（野菜スープ）」が提供されました。ドイツ出身の国際交流委員アントニア・シュルトさん協力のもと、本場の味が再現され、児童は味覚でドイツを楽しみました。



西小林小学校では、アントニアさんが全校児童を対象にドイツの食事や文化について講演。その後、6年生との交流給食も実施されました

## 花き共進会優等の佐藤和憲さん 農林水産大臣賞を受賞



佐藤さんは農林水産大臣賞のほか、宮崎県知事賞と宮崎県議会議長賞をあわせて受賞しました

2月6日、県農産園芸特産物総合表彰式が県庁で行われ、花き共進会経営部門優等のキク農家佐藤和憲さんが農林水産大臣賞を受賞しました。また、3月3日に小林総合庁舎で行われた表彰式では、茶共進会の普通蒸し煎茶部門1等園田悠輔さんと、加工用米・飼料用米多収コンテスト加工用米の部2等の富吉龍洋さんへ表彰状が手渡されました。

## 大阪産業大硬式野球部が3年ぶりの合宿

2月17日～2月22日、大阪産業大学硬式野球部が小林総合運動公園野球場で冬季合宿を実施しました。同大は平成26年度から市内で合宿を実施しており、今回はコロナ禍の影響で3年ぶり。2月17日に歓迎セレモニーが行われ、選手へ小林市産豚肉10キロが贈られました。



## フェスティバル わのしずく Fes. を3年ぶりに開催

2月18日、市出身・在住の音楽家によるコンサート「こばやしわのしずく Fes.」が3年ぶりに開催されました。第1部では中村朱里さん（ファゴット）と今屋早紀子さん（ピアノ）、第2部は大出水陽香さん（シンガーソングライター）が出演し、観客を魅了しました。



## 西諸地域で暮らす面白さ考える

2月22日、30歳前後の西諸出身・在住者対象とした「にしもろ2分の3成人式」を開催しました。Uターンの機運醸成や地域への愛着を高めてもらおうと2年前から西諸3市町で開催しているもので、参加者は西諸で活躍するパネリスト3人の話に耳を傾けました。



## あま〜い「台湾バナナ」をプレゼント

2月22日、学校法人神戸学園（蔣恵萍総長）が市内の小中学校12校の全児童へ「台湾バナナ」約2600本をプレゼントしました。これは、台北駐福岡経済文化弁事処（陳銘俊総領事）の紹介がきっかけで実現したもので、日本と台湾の交流を目的として贈られました。



## 地域医療の担い手として期待 小林看護医療専門学校で卒業式

3月2日、小林看護医療専門学校の卒業式が文化会館で挙行されました。34人の生徒が看護師としての決意を胸に、親しんだ学舎に別れ。卒業生を代表して、澤原翔さんが新型コロナの影響で苦勞した3年間の経験から「今後どのような困難があろうとも私たちなら乗り越えられる。そう思い続け、共に頑張りましょう」と声を掛けました。



式で志戸本宗徳校長から卒業証書が手渡された卒業生。34人中22人が西諸地区での就職が決まっており、地域医療の担い手として期待されています

## 地域づくりを一步進めるための研修会

2月11日、住民による意欲的な集落づくりを目指す研修会が開催されました。坂元区中島信行区長、吉都線に観光列車を呼ぼう小林実行委員会吉村秀昭会長らによるパネルディスカッションなどが行われ、コロナ禍で制限された中での活動など意見交換を行いました。



## 自動車整備振興会が下敷きなどを寄贈

2月16日、自動車整備振興会小林支部から交通ルール下敷き・防犯定規各370枚が寄贈されました。寄贈は今年で15回目、下敷きなどは小学校新1年生に配布予定。上村一郎支部長は「子どもたちの交通安全・防犯の意識が高まれば」と期待を寄せました。



### 男女共同参画ワークショップを開催

3月11日、布ナプキン制作のワークショップをTENAMU交流スペースで開催しました。イベントには14人が参加。講師に開業保健師の柏田ひろみさんを招き、制作をしながら布ナプキンの使い方や生理の悩みなどについて意見を交換しました。



### 1年間の地域魅力化の取り組みを発表

3月10日、小林西高校普通科の1・2年生が、総合的な探求の時間で取り組んだ成果を発表しました。生徒は1年生5チーム、2年生4チームに分かれて活動。TENAMUビルで開催したイベントや、野尻地区での活性化の取り組みなどを報告しました。



## コロナ禍経て3年ぶりの開催 第43回すき花火大会



①

3月18日、新型コロナの影響で開催を延期していた「第43回小林市すき花火大会」が、須木中学校グラウンドで開催されました。

富永練実行委員長は、「8月に開催予定であった花火大会をコロナの影響で断念していました。必ず開催するという気持ちで企画を続け、ようやく開催することが出来て嬉しい」とあいさつ。

ステージでは須木中央保育園児のダンスや橘太鼓響座による太鼓演奏などを披露。メインイベントでは、会場近くの川沿いから打ち上げられる花火が頭上高く夜空を彩り、会場では拍手と歓声が上がりました。



当日の様子はこちら



Photo 1 メインイベントの花火 Photo 2 可愛いダンスで会場を沸かせた須木中央保育園の園児 Photo 3 園児を撮影する保護者 Photo 4 橘太鼓 響座の和太鼓演奏 Photo 5 会場の屋台を楽しむ来場者 Photo 6 会場までの道を照らす灯籠

### 誰もが孤立せず支え合える地域づくりを目指して講演会を開催

3月14日、誰もが孤立しない地域づくり講演会が文化会館で開催されました。地域から孤立する人が生まれないような地域づくりを目指すため、市社会福祉協議会が主催したもの。宮崎大学教授の境泉洋氏、ジャーナリストの池上正樹氏が登壇し、ひきこもり・8050問題への現状や対応、支援などについて参加者は理解を深めました。



池上さんは多くのひきこもり当事者と関わった経験から「ひきこもり状態は誰もがなり得る。みんなが当事者意識を持ち、理解してほしい」と話しました

### こころの癒しライブでみんな元気に

2月26日、西諸地域障がい者家族会交流会「こころの癒しライブ」が開催されました。これは、精神・身体・知的障がいの関係者の心を元気にすることを目的に開催されたもので、参加者らはディジュリドゥ奏者の成澤けやきさんの歌や演奏に聞き入りました。



### 小林市畜産振興大会が4年ぶりに開催

3月9日、畜産振興大会が4年ぶりに文化会館で開催されました。市内の畜産農家や関係者など約390人が来場。都城家畜保健衛生所中森沙織主任技師の講演などがあり、参加者らは地域ぐるみの防疫体制の構築の重要性などについて理解を深めました。



### いざというときの対処法を学ぶ 須木永田地区で救急講習会



講習会には永田地区の住民21人が参加。参加者は、マネキンとAEDを使って、救命方法の一連の流れについて学びました

3月12日、下田地区農業構造改善センター永田館で、中央消防署須木分遣所職員を講師に招き、永田地区救急講習会が実施されました。参加者は講話を聴いたあと、傷病者発見時の応急的な救命方法やAEDの操作手順について説明を受けました。参加者の川添忠弘さんは、「いざというときの対応について勉強になった」と話していました。

### 進学前にバスの正しい利用を学ぶ 須木中学生を対象に出前講座

3月13日、須木中学校の生徒12人を対象に、コミュニティバスや路線バスの乗り方を学ぶ教室を開催しました。同教室は、生徒が高校進学を機に通学などでバスを利用する機会が増えることから開催されたもので、宮崎交通株式会社の協力のもと実施。生徒は、疑似バス停を利用して降り降りする方法や料金の支払い方法などを学びました。



バスの乗り方教室は、学校だけでなく地域や団体を対象にも開催できます。希望する場合は企画政策課（TEL 23-0456）へ問い合わせください

## ◆e-カフェ開催一覧(須木総合ふるさとセンターは前日までに要予約)

地区	日程	時間	場所
小林	5月10日(水曜)	13時30分～14時30分	小林市社会福祉センター別館第1会議室
	開催日時未定 ※5月以降に小林市地域包括支援センターへ問い合わせください		
須木	5月17日(水曜)	10時～11時30分	永田館
	5月24日(水曜)		須木総合ふるさとセンター
野尻	5月24日(水曜)	14時～15時30分	茶のん場ふもと(東麓)
内山	次回は6月開催		

地域の子どもや高齢者、認知症の人やその家族など、誰でも気軽に参加し、お茶や話をしたり、歌やゲームなどをして交流を深める場です。

◆**参加費** 無料  
◆**問** 小林市地域包括支援センター

介護をしている人と悩みを出し合い、語り合う集いを開催します。介護経験などについて語り合い、何かヒントを見つけていただければ幸いです。予約不要、参加費無料です。誰でも参加できます。

◆**小林地区**  
◆**日時** 5月13日(土曜) 10時～12時  
◆**場所** 野尻保健福祉センター  
◆**内容** 集い  
◆**野尻地区**  
◆**日時** 5月13日(土曜) 10時～12時  
◆**場所** 野尻保健福祉センター  
◆**内容** 集い  
◆**講師** 戸高一成医師  
(内村病院 認知症サポーター医)

公共職業訓練生募集  
「ビジネスパソコンスキルアップ科」  
求職中の方が早期就職出来るように、新たな職業に必要なパソコンなどの知識・技能の習得と資格を取得するための職業訓練を実施します。

◆**訓練期間** 6月2日(金曜)～9月1日(金曜)  
◆**定員** 20人  
◆**場所** 小林高等職業訓練校  
◆**受講料** 無料

◆**募集期限** 5月1日(月曜)  
◆**申・問** 小林高等職業訓練校  
Tel 23-6800  
ハローワーク小林  
Tel 23-2171

土地・家屋価格等縦覧帳簿を設置します  
自己の資産と近隣の資産の価格を比較できるように縦覧帳簿を設置します。縦覧は無料ですが、課税台帳交付は有料です。

▼**日時** 4月3日～5月1日 平日8時30分～17時15分  
▼**場所** 税務課/須木庁舎住民生活課/野尻庁舎住民生活課  
▼**対象** 本市固定資産税の納税者かその委任を受けた代理人  
▼**必要なもの** 窓口に来る人の本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証など)※代理人は委任状  
◆**問** 税務課 Tel 23-0115

**保健・福祉**  
参加してみませんか  
e-カフェに

◆**問** 小林市地域包括支援センター  
◆**参加費** 無料  
◆**問** 小林市地域包括支援センター

◆**問** 小林市地域包括支援センター  
◆**問** 小林市地域包括支援センター

◆**問** 小林市地域包括支援センター  
◆**問** 小林市地域包括支援センター

令和5年度「児童福祉週間」について  
子どもや家庭、子どもの健やかな成長を国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日「こどもの日」から一週間を「児童福祉週間」と定め、児童福祉の普及や啓発活動が全国各地で展開されています。子どもの健やかな成長や子育て環境などについて考えましょう。

◆**令和5年度児童福祉週間標語**  
小さなて みんなではぐくみ 育ててく  
◆**令和5年度児童福祉週間** 5月5日(金曜)～5月11日(木曜)  
◆**問** こども課 Tel 23-1278

## 募集

介護相談員募集  
介護事業所を訪問し、利用者からの相談や観察活動などを行う相談員を募集します。

◆**任期** 令和5年6月1日～令和6年3月31日  
◆**活動時間** 2人1組で事業所を月に4箇所程度訪問  
◆**謝礼金** 月額1万円  
◆**補償** 活動中に発生した事故や賠償責任の補償を受けられます。  
◆**募集人数** 1人  
◆**応募要件** ①自動車運転免許を保持し、自家用車を持っていること(自家用車での訪問のため) ②介護相談員養成研修を受講できること(全5日間)  
◆**応募方法** 履歴書(市販のもので可)を郵送するか窓口へ直接提出 ※封筒に「介護相談員応募」と朱書きして郵送ください  
◆**募集締切** 4月24日(月曜) 必着  
◆**選考方法** 書類審査と面接

◆**申・問** 長寿介護課  
小林市細野300番地  
Tel 23-1140

のじり生涯学習講座  
講座受講生募集  
スマートフォン講座  
スマホを安心して使えるようにしよう。インターネットを使ってみよう。

◆**日時** 5月12日(金曜) 10時～12時30分  
◆**場所** 野尻町保健福祉センター  
◆**参加費** 無料  
◆**定員** 15人  
※初めての人を優先  
◆**申込締切** 4月27日(木曜)  
はじめてみよう!  
簡単エアロビクス講座  
エアロビクスの簡単な動きに合わせて楽しく体を動かしましょう。初めての人も気軽に参加してください。

◆**日時** (全て月曜)  
5月15日、5月29日、6月5日、6月19日、7月3日、7月31日 10時～11時30分  
◆**場所** 野尻町保健福祉センター

◆**参加費** 500円  
◆**保険料** 150円  
◆**定員** 15人  
※申込者多数の場合は抽選  
◆**申込締切** 4月28日(金曜)

◆**共通事項**  
◆**対象** 市内在住・在勤の人  
◆**申込方法** 窓口で直接申し込むか、電話で申し込みください。  
◆**申・問** 中央公民館  
Tel 22-3482

元氣カレッジ  
「しあわせ学園」  
「知識をたつぷり 仲間とにっこり しあわせ時間」  
◆**応募資格** 市内在住でおおむね40歳以上の人  
◆**学習内容** ドイツの料理、脳活で健康、県内の魅力発見、日本語で交流って? ほか  
◆**日時** 令和5年5月(令和6年2月) 毎月第2火曜(全10回) 9時30分～12時  
※変更となる場合があります  
◆**場所** 小林中央公民館

◆**受講料** 1千円  
※材料費などは別途個人負担  
◆**募集人数** 40人  
◆**申込期間** 4月3日(月曜)～4月24日(月曜)  
◆**申込方法** 窓口で直接申し込むか、電話で申し込みください。  
◆**開級式** 5月9日(火曜)  
◆**申・問** 社会教育課  
Tel 22-7912

ミニテニス教室  
誰でも簡単に楽しめるミニテニスの基礎をやってみませんか。一緒に楽しみましょう。

◆**日時** 5月10日～6月28日 毎週水曜(全8回) 13時30分～15時30分  
◆**場所** 真方地区体育館  
◆**定員** 10人程度  
◆**費用** 1千円(ボール代、会場費)  
◆**申込方法** 電話で申し込みください。  
◆**申込締切** 4月21日(金曜)  
◆**その他** ラケットは期間中貸与します  
◆**申・問** テニス協会事務局  
Tel/FAX 23-7201

音訳ボランティア養成講座  
視覚障がい者に広報紙、議会だより、本などを正確に分かりやすく音訳するための養成講習会です。

◆**講習期間** (第2・4土曜) 5月13日(令和6年3月) 13時30分～15時30分  
◆**場所** 市社会福祉センター  
◆**対象** パソコン操作ができる人  
・講習終了後にボランティア活動ができる人  
◆**受講料** 無料  
※テキスト代は別途個人負担  
◆**受講方法** 受講希望者は電話で申し込みください。  
◆**申・問** 市社会福祉センター  
Tel 23-3466  
朗読友の会代表(水間)  
Tel 23-3498

あなたに必要なこばやしの「情報」をお届け！



## 小林市公式 LINE はじめました！



3月15日に小林市 LINE 公式アカウントを開設しました。防災情報やごみ収集のお知らせ機能、ごみ分別検索機能など、さまざまな機能があります。

また、基本受信設定をすることで欲しい情報だけを受け取ることができます。

### Point! ポイント 1 友達登録をすると市の情報がすぐ届く！

- 旬な市政情報が随時届きます！
- 「小林市メール配信サービス」の内容も配信されるため、災害時も安心！

登録すると、最新の情報が画像付きで届いて、とても便利です。

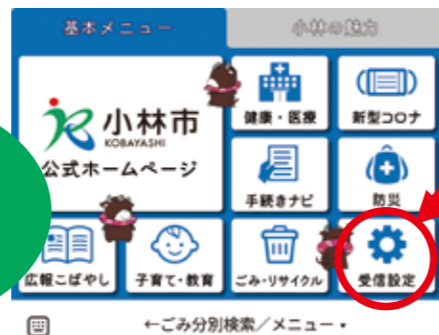


### Point! ポイント 2 自分好みの情報を選択して受け取れる！

- 受信設定を選択することで自分好みの情報が届きます♪

- 受信設定項目例
- ◆観光・イベント◆子育て・教育◆健康・医療
  - ◆その他のお知らせ◆ふるさと納税
  - ◆防災情報◆火災情報◆交通・防犯情報
  - ◆行方不明者情報◆感染症・防疫情報 など

すでに「友だち」登録をしている人も「受信設定」から好みの情報を設定しよう！



ココから受信設定！

これからも日々機能が充実していきます。ぜひLINEで小林市と友達になりましょう！

災害時の情報がしっかり届くから安心ね。



## 友達登録はこちらから



左のQRコードを読み込み、「追加ボタン」を押すか、「友達追加」から「ID検索」でも登録できます。  
@kobayashi-city

ごみの収集日前日にお知らせしてくれるので、出し忘れがなくなりました。



## 新型コロナワクチン接種のお知らせ



現在のワクチン接種事業（令和4年秋開始接種）は5月7日で終了します。現在接種券を持っていて接種を希望する人は、早めの接種をご検討ください。期限を過ぎると令和4年度に発行した接種券は使えなくなりま

●問＝健康推進課 Tel. 24-5007

現在のワクチン接種事業 (令和4年秋開始接種) <b>5月7日</b> で終了	高齢者や重症化リスクが高い人、 医療従事者など 令和5年春開始接種 <b>5月8日</b> から開始	5歳以上で、初回接種（1・2回目接種）が完了した人 令和5年秋開始接種 <b>9月以降</b> に開始予定
---	---	---

### 令和5年春開始接種

初回接種（1・2回目接種）が完了した人で

- ① 65歳以上の人 → 申請不要です。4月以降に随時接種券を発送します
- ② 5歳以上65歳未満の人で、基礎疾患がある人  
または、重症化のリスクが高いと医師が判断した人 → 申請受付後、随時接種券を送付します  
※前回申請済みの人は必要ありません
- ③ 医療機関や高齢者施設、障がい者施設などの従事者 → 原則、医療機関・施設ごとで申請受付後、接種券を送付します

初回接種（1・2回目接種）は完了していますか？

○はい

×いいえ

65歳以上ですか？

○はい

×いいえ

接種券を送付します

5歳以上ですか？

×いいえ

基礎疾患、医療従事者等に該当しますか？

○はい

×いいえ

申請があった人に随時接種券を送付します（※）

令和5年春開始接種対象外

※4回目接種のときに申請している人は、新たに申請する必要はありません

### 人のうごき（小林市の人口）

人口	42,365人	(-59、-491)
男	19,785人	(-18、-217)
女	22,580人	(-41、-274)
世帯	19,130世帯	(-20、+80)

令和5年3月1日現在現住人口 (前月比、前年同月比)  
現住人口：国勢調査人口（実際に居住している人口）を元に、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。  
※令和2年10月1日に公表された「令和2年国勢調査速報値」を反映

### 火災・救急発生状況

種別	2月	累計	昨年
建物	0	0	-2
林野	0	0	-1
車両	0	0	-1
その他	0	1	+1
救急	227	227	+24

※先月林野火災として報告されていた火災はその他の火災として処理されました

### 交通事故発生状況

種別	2月	累計	昨年
人身	8	22	+3
物損	68	143	+22
死者	0	0	-2
負傷者	8	26	+5
全国死者		387	(昨年同月比 +28)

●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

種類	月日	場所	時間	備考
休日納付・納税相談窓口	4月16日(日)	ほけん課・税務課窓口	8:30～17:15	※毎月第3日曜日
年金移動相談 ※要予約	4月20日(木)	市役所本館1階相談室	10:00～14:40	予約:都城年金事務所

※年金移動相談は、感染症予防のため休止になる場合があります。事前に都城年金事務所(Tel 0986-23-2571)に確認ください

その他のイベント

◆二原遺跡公園公開日

4月16日(日)  
5月3日(水)～5日(金)  
9:30～11:30

農地移動申請

場所 農業委員会事務局  
時間 9:00～17:00  
受付開始日 4月7日(金)  
受付締切日 4月13日(木)

税・保険料の納付期限

※納期限は5月1日(月曜)です。

固定資産税・都市計画税	1期
介護保険料	1期

これは何ごみ? 答え

『燃やさないごみ』です。折りたたむか、切断して指定ごみ袋からはみ出さないように完全に入れて、指定ごみ袋を縛ってください。

※指定ごみ袋に入らない場合は、『無料粗大ごみ』です。

●問=生活環境課 Tel 23-8122

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

月日曜	種類	会場	時間
4/11 火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階相談室	10:00～15:00
4/18 火	人権・なやみごと	市役所東館1階相談室	
4/25 火	人権・なやみごと	市役所東館1階相談室	
5/2 火	人権・行政・なやみごと	須木総合ふるさとセンター	
5/9 火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階相談室	

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談 毎週月曜 20:00～22:00 ●問: NPO 法人こばやしハートム ☎27-1850	◆宮崎いのちの電話(年中無休) 日・月・水・金 21:00～(翌朝)4:00 火・木・土 18:00～(翌朝)4:00 ●問: NPO 法人宮崎いのちの電話 ナヤミココロ ☎0570-783-556
---	--

その他の相談会や集い(参加希望者は事前に連絡ください)

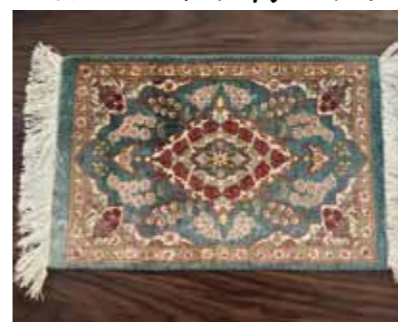
小林保健所の相談会(場小林保健所 問23-3118)	小林こすもす家族会
▼アルコール家族教室(アルコールで悩む本人・家族)	精神疾患で悩まれている家族
☎ 毎月第2火曜 時13時30分～15時30分	の「思い」を共有する集い
▼ひきこもり・こころの健康相談	☎ 毎月第2水曜
☎ 毎月第4火曜 時13時30分～15時30分	時13時30分～15時30分
▼わかちあいの会(自死遺族のつどい)	場 市民活動支援センター
☎ 毎月第4木曜 時13時～15時	問 Tel 080-6423-5858

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122  
小林市清掃工場 Tel 24-0959  
須木住民生活課 Tel 48-3132  
野尻住民生活課 Tel 44-1100

区	4月	5月
水流迫、東方1・2	4	2
真方1・2・3	3	1
南西2・3、通り町	5	8
南西1の西、南西4本町、新生町	6	9
南西1の東、種子田	7	10
北西1・3、緑町	10	11
北西2、坂元	11	12
西町1・2・3 南島田	13	15
仲町、永田町、後川内	12	16
細野2・3、南真方	20	17
細野1、南真方西	21	18
南真方東 上町・上町西	25	25
上町中、上町東 上町北	26	26
西堤、南堤	27	30
北堤	28	31
野尻地区(第3日曜)	16	21
須木地区(第4日曜)	23	28

今月のこれは何ごみ?



「マット・絨毯・カーペット」  
(答えは左のページ)

すこやかカレンダー こども課 Tel 23-4319

●育児・親子健康日程

種類	月日	時間	会場
妊婦健康相談 母子健康手帳発行	毎週月曜 (祝日除く)	受付 9:00～11:30	小林市保健センター
赤ちゃん健康診査	4月20日(木)		
1歳6か月児健康診査	-	※個別に案内しています	
3歳児健康診査	4月13日(木)		
歯っぴ〜教室(要予約)	-	受付 13:00～13:30	
キッズフロア	-	受付 9:30～11:00	
もぐもぐクッキング(要予約)	-	受付 13:45～14:00 開催 14:00～15:00	

●にこにこ運動教室(13:30～15:30)

問: 社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206

場所	4月	5月
野尻町保健福祉センター	11日(火)、18日(火)、 25日(火)	2日(火)、9日(火)

●健康相談

「健診結果が気になる」「食事のことが知りたい」「どんな運動をすればいいか」など、健康について気になることを気軽に相談ください。

月日曜	種類	会場	時間
平日(祝日を除く)	健康相談 (体組成計・血管年齢測定)	小林市保健センター	8:30～17:15 (要予約)
4/13 木	まちの保健室	まちなか松栄 イトインスペース	13:30～15:30
4/27 木		テナムビル2階 交流スペース	

日曜祝日在宅当番医(原則として9時から17時)

月	日	曜	在宅医	電話番号
4	16	日	ほりファミリークリニック	23-3988
			押川病院	44-1005
	23	日	小林泌尿器科クリニック	25-0505
			整形外科前原病院	23-1711
	29	土	池田病院	23-3535
			小林保養院	22-2836
30	日	よしむら循環器内科クリニック	27-3339	
		くすもと内科クリニック	23-1115	
5	3	水	野尻中央病院	44-1141
			上田内科	23-3377
	4	木	立山整形外科医院	22-1717
			ひろた内科クリニック	25-0550
	5	金	池井病院	23-4151
7	日	西小林診療所	27-1034	
		沖内科・小児科医院	22-4043	

やっばい

# 元気がよか！

## 自立支援型介護予防 適切な歩行手段～転ばぬ先の杖～

### 「骨折・転倒」を未然に防ごう

最近、「歩くのがおっくうになった。」「ふらついたり、転んだりすることが多くなった。」など感じたことはありませんか。

介護が必要になった人の主な原因は※、「骨折・転倒」、「認知症」などです。中でも「骨折・転倒」は自分や周囲が気を付けることで、多くが予防できます。

※厚労省「国民生活基礎調査」／2019年より

### 歩行補助具

骨折や転倒予防には、杖やシルバーカーなどの歩行補助具の使用がおすすめです。

何もない所でつまずいたり、以前と比べて歩くスピードが遅くなったりしている場合は、足の筋力が落ちている可能性があります。「骨折・転倒」をしてしまう前に歩行補助具を使ってみませんか。

現在、歩行補助具を使用している人は正しい使い方ができているか一度チェックしましょう。（下記参照）

令和4年度は「自分で出来る介護予防」をテーマに掲載してきました。自分自身の体を管理し、これからも安全で快適な生活を過ごしていきましょう。

### ◆杖の握り方

良い脚側の手で杖を持ち、人差し指と中指で支柱を挟むようにするか人差し指を支柱にそえるようにしましょう。



### ◆杖の高さとつき方

杖を持った側のつま先から、前と外それぞれ15°の位置につき、肘の角度が約30°になるよう高さを調節しましょう。



問 長寿介護課 Tel. 23-1140

福祉情報をお届けします

# 社協タイムズ

## ～日々の悩み事を気軽に相談してください～ 小林市生活自立相談支援センターの紹介

生活のこと、仕事のこと、家計のことなどの困りごとや悩みごとの相談を受け付けています。「仕事を辞めて収入が少なくなった」「生活費に困っている」「どこに相談したらいいかわからない」などひとりで悩まず、まずは相談してください。

### 対象者・支援内容

**対象者**  
小林市在住で、生活保護を受給していない人が対象

### 就労支援

相談者の方の状況、経験、希望に沿った仕事への就労を目指して、相談者、ハローワークと連携して就職活動をサポートします。

### 家計の見直し

家計状況を「見える化」して、相談者と一緒に家計簿を作り、よりよいお金の使い方を探ります。

### 住居確保給付金

離職、廃業またはやむを得ない休業などにより、家賃の支払いに困り住居を失う恐れのある方に対して、一定期間支援を行います。

### ひきこもり状態の人や家族への支援

ひきこもり状態にある方やそのご家族からの相談を受け付けて、相談者に寄り添った支援を行います。

### 各種制度の情報提供や案内

相談内容に応じて、各種貸付制度、債務整理、福祉サービス、子育てサービスなどの情報提供や適切な相談窓口の案内を行います。

問 小林市社会福祉協議会 小林市生活自立相談支援センター Tel. 23-0338

## 一生に一度は 肝炎ウイルス検査を受けましょう

# 元気の知恵袋

●問＝健康推進課 Tel. 23-0323

### 国内最大級の感染症「ウイルス性肝炎」

ウイルス性肝炎は、肝臓の細胞が破壊されていく国内最大級の感染症です。特にB型・C型肝炎ウイルスは、感染者数が250万人以上にのぼると言われています。

また、肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれており、ウイルス性肝炎に感染しても症状がほとんどなく、徐々に肝臓の機能が失われていき、最後には「肝硬変」や「肝がん」になることがあります。

市では、特定健康診査や各種がん検診と同じく医療機関や集団健診で肝炎ウイルス検査も実施しています。肝炎を早期発見し、重症化を防ぐため、積極的に検査を受けましょう。

### 対象者

市内在住の40歳以上の人で、過去に市の肝炎ウイルス検査を受けたことがない人  
※肝炎ウイルス検査費用について、市の助成を受けることができるのは1回限りです

### 内容

血液検査

### 実施期間

令和5年6月1日～令和6年1月

### 注意事項

実施医療機関など詳細については、5月中旬頃に発送予定の「あなたが受けられる（検）診一覧（ピンク券）」を確認してください。



## お酒を正しく上手に楽しむ だれやめ通信

●問＝健康推進課 Tel. 23-0323

### 第10回 分解時間を知って二日酔い運転対策

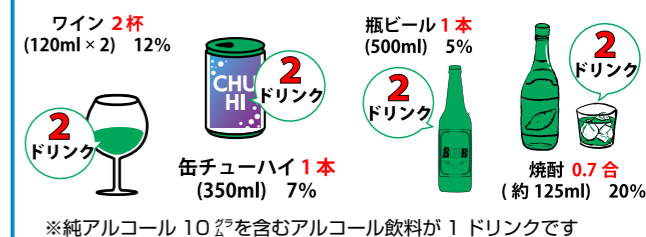
寄稿：医療法人見松会 あきやま病院 福田 貴博医師  
(前勤務先：独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター)

ご存知のように、飲酒運転に対して厳罰化が進んでいます。現在、飲酒運転は最大で罰金100万円です。

ですから、最近は飲んだ直後に運転する悪質な飲酒運転は減ってきています。その代わりに、二日酔い運転で検挙される人が増えています。「一晩寝たら大丈夫」と考え、沢山飲んだ翌朝に運転してしまうと、飲酒運転になってしまいます。

実は、お酒が分解されるまで、皆さんが思っている以上に時間がかかります。例えば、ビール500mlですと、分解に4時間かかります。日本酒1合は4時間、焼酎1

### 1日の適正量（2ドリンク）の目安



合は8時間かかることとなります。これは、肝臓が一時間に分解できるのは、純アルコール5g<sup>※</sup>という計算です。ということは、平日の夜には沢山は晩酌できません。

今までこのコラムでご紹介してきたドリンクという考え方を使えば、2ドリンク＝4時間という分解時間が解り、二日酔い運転対策となります。これからは分解時間を意識して飲むのはいかかでしょうか？

## 健幸のまちづくり拠点施設整備 つうしん vol.4 ●問＝建設課 Tel. 23-0311

基本設計では、総合運動公園に既にある施設と新しく整備する健幸のまちづくり拠点施設（新市民体育館）が一体となり、市民の活気に満ち溢れる場所となるよう、各施設を「散歩道・遊歩道」でつなぎ、人の流れや交流機会が創出されることを基本としました。

新市民体育館は、鉄筋コンクリート造2階建、延床面積は約6160㎡、エレベーター完備でバリアフリーに対応します。1階は、約4695㎡で体育館のアリーナ施設、子育て支援センター、健診や軽運動に利用できる多目的室、会議室などを配置。また、各機能をつなぐため、交流・飲食スペースとして「健幸ストリート」を設けます。2階は、約1465㎡で臨場感溢れる観覧席を四方に約800席配置し、1周約200mのランニングコースを完備。2階の屋外には、霧島連山の絶景を仰ぎながら運動ができるテラスを設けます。

駐車場は、思いやり駐車スペース8台分を含む約240台と車寄せを整備。また、周囲には子ども広場やクロスカントリーコースを設ける予定です。

※基本設計は、「小林市健幸のまちづくり拠点施設整備基本計画」（令和4年3月策定）やさまざまな意見をもとに基本的な構想を図面などにまとめたもの。基本設計で建物の大きさや配置、建物内の間取りなどを決めて概算工費を算出するなど、建物を造るうえで重要な役割を担います。

画：友安よーいち

第104話「公式LINE開設」



広報紙へのご意見・ご感想をお気軽に寄せてください



読んだ感想や、こんな情報が知りたい、この人取材してほしいなどのご意見を、QRコードからお寄せください。

心の花びら

ハーモニカ響くサロンや春が来た（小林合歓の会 後野美美子）  
 湯屋に生き愛しむ廃業梅一輪（小林合歓の会 内田トシ子）  
 ひとひらの山茶花入れる宅配便（小林合歓の会 尾辻和子）  
 慈しむ心通わず鳥雲に（小林合歓の会 大坪由美子）  
 初恋やテレビの中で夢を見る（小林合歓の会 小村明子）  
 春なのに老いしチワワを抱きしむ（小林合歓の会 本田澄子）  
 髪揺れて歯白き少女春の風（東脇哲郎）  
 初鞆入れ黒土耕す心地良き（長友正臣）  
 故郷を離れむとすれば煌めく星の心残りやぬかと背中を引く（永友チエ）  
 むしられじと根を張る草に負けじとて春の小庭にくわを打ち込む（佐枝記子）  
 空家にも主いなくとも春は来る多年草花誰の為咲く（武ナミ子）

SUKU SUKU すくすく



平原 希音ちゃん  
 令和4年9月21日生

🌸 すくすく募集中!

必要事項をメールで送信いただくか、Google フォームから入力してください。

- ◆必要事項
- ・子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別
- ・掲載する写真
- ・保護者の名前
- ・コメント (50文字以内)



← Google フォーム QR コード  
 ※フォームからの申し込みは Google アカウントが必要です  
 【申・問】・企画政策課  
 mail info@city.kobayashi.lg.jp

<編集後記>

市公式LINEが始まりました。写真や画像付きでくらしの情報を受け取れたり、緊急性の高い災害情報なども受け取ることが出来ます。ぜひ「お友達登録」をお願いします。(榎田)

小林人の仙若さん取材しました。東方小学校の公演では、児童だけでなく、大人まで夢中に。仙若さんの華麗な芸と話術で、会場が笑顔と歓声に包まれていました。(前原)

小林市立図書館  
 問=TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷は毎週土曜



春の気持ちのいい日には、地域の豊かな自然に心ひかれる方も多いのではないのでしょうか。この季節にぴったりの本を紹介します。

小林市出身 印度学仏教学会賞受賞、文学博士（インド哲学）

はりかい くにお 針貝 邦生氏 から著書を寄贈いただきました



『蝶と蛾のサンスクリット学名解説』

古代インドの言葉「サンスクリット語」に由来する蝶と蛾の学名を解明し解説。著者が小林市で過ごした時期に触れあった虫や、自然への思い出も綴られています。

著者略歴

- 1967 九州大学文学部卒業
- 1978 佐賀医科大学准教授（哲学・倫理学・人間学）

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館

◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで

【須木分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 9時～17時

【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで

毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

西諸の自然を知る本はまだたくさん!

「ふるさとの自然」コーナー



「西諸の生物」は創刊号から設置します。

◆設置期間

4月2日（日曜）～4月23日（日曜）

こはまち 便り

小林まちづくり株式会社

〒886-0008 小林市本町16

8時30分～17時30分

(土日祝日除く)

TEL 27-3280

Fax 27-3257



春のイベント開催で市民に笑顔を!

「4月からの新学期にあわせて習い事を始めたい」と悩んでいる未就学児、小学生の保護者に向けて、3月12日に「春の習い事説明会」KITTO やりたいこと見つかる」をKITTO 小林で開催しました。市内の複数の教室が集まり、お子様にぴったり合った習い事を見つけられることができる企画です。当日は、朝早くから多くのご家族に会場いただきました。会場には、ぬり絵や絵本が読めるキッズスペースも設置し、お子様も楽しんでいる様子でした。そして、3月1日～3月31日の1カ月間、卒業生に向けてKITTO 小林の



写真④「春の習い事説明会～KITTO やりやすいこと見つかる～」の様子  
 写真⑤ KITTO 小林バスセンターに設置したフォトスポット

バスセンターに、フォトスポットを設置しました! 卒業をテーマに、フォトパネルや顔はめパネル、ポッププロップスなどの、華やかなアイテムの数々で、卒業の思い出を残していただけの企画となりました。小林まちづくり株式会社では、来年度も市民の皆さまの思い出に残るようなイベントを企画して参ります。ぜひ、弊社ホームページやインスタグラムをチェックしてみてください!



日本神話の郷 **霧島岑神社**

ゴールデンウィークに  
イベント開催予定!

小林市細野(夷守) 4937 社務所 ☎0984-23-0855  
(細野中より南へ1.2km直進) 宮司携帯 090-3735-9954

生駒高原  
**ポピーまつり**  
2023.4.15 ~ 5.14

花の駅生駒高原  
〒886-0005  
小林市南西方 8565  
☎0984-27-1919

Q&A 九州355インテリアグループ ●営業時間：朝8時～夜7時

**(有)やすかた豊ふすま店**

小林店 〒886-0007 小林市真方384-10  
TEL **0984-22-4566**  
FAX **0984-27-4566**

都城三股店 〒889-1914 三股町蓼池字前ノ村4178  
TEL **0986-36-3820**  
FAX **0986-36-8621**

通話料無料 (フリーダイヤル)  
**0120-18-4566**  
お電話下されば見積りに伺います(無料)

**和田クリニック**  
人工透析センター

超純水透析液を使用した質の高い透析治療  
最新機種(全自動透析装置)を用いた安心・安全な透析

送迎応談・随時見学可

☎23-5653/Fax22-5142  
〒886-0003 小林市堤3727番地1  
<http://wada-clinic.or.jp/> 和田クリニック

MIYAUCHI (有)宮内葬儀社

0120-24-2349

小林市細野437番地4(市役所前)  
TEL 0984-22-2349

西町斎場・上町斎場・ラウム会館

**SOGO GRAPHICS**

- 印刷
- 販促品
- レーザー加工
- オリジナルグッズ製作
- 動画作成
- 3Dプリント
- ワークショップ
- ドローン撮影

宮崎営業所

〒886-0004 宮崎県小林市細野389-1 第1池田ビル  
www.sogographics.com info@sogographics.com

TEL ☎0984-27-3437 FAX ☎0984-27-3438

倉菌牧場直営店  
beef kurazono

変わらぬおいしき、更なるおいしき...  
ハレの日はビーフックくらそので。  
※ご予算に応じて8,000円～ご予約賜ります。

TEL 0984-24-1515  
E-mail info@beef-kurazono.com

**TRIAL**

スーパーセンター  
トライアル小林店

**スタッフ大募集!**

TEL03-6855-4505(採用センター)

広報こばやしでは、収入確保対策として有料広告を掲載しています。  
広告内容は市が推奨するものではありません。掲載している広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。

編集発行/小林市総合政策部企画政策課  
〒886-8501 小林市細野300番地  
TEL 0984-23-0456 FAX 0984-25-1037

ホームページ <http://www.city.kobayashi.lg.jp>  
メールアドレス info@city.kobayashi.lg.jp



小林市は「核兵器廃絶・平和都市」、「人権擁護都市」  
「地域医療・健康都市」小林市、「ゼロカーボンシティ」  
を宣言しています。